



力を合わせてさぁ引くぞ（高木校区のみなさん） みんなのスポーツ大会（御船中学校） 11月18日

あなたと議会を結ぶ情報ネットワーク

# あおぞら21

給食センター建設場所決まる .....	2
熊本バス路線 一部変更 .....	6
し尿やごみ処理場が老朽化 .....	6
フェイスブックを活かそう .....	7

10月定例会  
24年11月30日  
No. 70  
熊本・みんね町議会

# 給食センター

24年度第6回御船町議会定例会10月会議を11日開きました。

議事日程は議長の諸報告と行政報告、一般会計補正予算第7号、介護保険事業特別会計補正予算第3号、後期高齢者医療事業特別会計補正予算第1号、公共下水道事業特別会計補正予算第4号、水道事業会計補正予算第2号について審議しました。

## 主な質疑

**田端議員** 今日の議会に入る前10月5日に全員協議会を開いた。その中で町長から11日の議会の行政報告で給食センターに関する報告をすると話があった。その後本日までに設置場所の報告をしてほしいという要望を出していたが、何もない。休憩の動議を求める。

**岩田議長** 休憩の動議が出されたが、賛成6人のため、議事を進行する。

## 一般会計補正予算 1,534万5,000円を追加

**沖議員** 給食センターの場所は町有地で一番いいところに落ちていると思っている。交通も便利で、静かなところ。中熊選考委員長から候補地の答申があった時点で、議会が開かれる前に全員協議会に報告できなかったのか。

**山本町長** 昨今の全員協議会の姿を見てどうなのかなと思う。藤川議員と福永議員の一般質問であれだけ論議してきた。この給食問題は、センター方式、自校方式の決定を3年かけている。

全員協議会を開いても、同じような形になる。

**井本議員** 中熊委員長からの報告を、全員協議会でもきちんと報告をしていけばこういう問題にはならない。

たばこ耕作跡地に祭りの山車が保管されているがどうするのか。

**山本町長** 町の所有が1台、商工会所有が2～3台ある。場所は今幾つ

か案を考えている。例えば街なかギャラリーの北蔵をもう少し整理し展示しておけば、見学もできる。

**山田議員** 山車の件について、山車を保管している建物の中にはテーブルと夏祭りのステージなども入っている。今後の保管場所を商工会と相談をし検討をしてもらいたい。それから、給食センターの建設に向けて、地産地消とか、そういった協議会を立ち上げるなどの取り組みはあるか。

**山本町長** 保管場所は、きちんと協議をすることになっている。

**増永教育長** 御船町学校給食実施計画というのを作って、その中の第2章に、地産地消の推進があり、現在取り組んでいる。できる限り地産地消を推進しようということで、進めている中での課題が、少ない食数だとなかなか業者の方が採算が合わない。また、同じ品物の形が揃わなく

て、調理人が調理するのに苦労がある。地産地消を進める上でも給食センターができると大量に仕入れができ、給食センターのほうが地産地消が進むのではないかと考えている。

**福永議員** 今回の予算提案は前提が大きく欠いている。どこに造るのか。どのようなものを造るのか。その場所の決定過程はどのようなものだったのか。本日に至るまで、全く議員に対して知らされていない。本会議で知らされたとしても、議員として調査すらできない。

**山本町長** その決定に当たってのプロセスは、いろんな論議がある。細かいことを今この場所で聞いていただければありがたい。

**福永議員** 議会基本条例の11条に説明資料を出さなければいけないと書いてある。それを執行部は出さなかった。これに関しては、強く反対する。



給食センターの建設が予定されている町有地とたばこ耕作組合所有地

# 建設場所決まる

**山本町長** 反対される分はいい。今教育委員会から資料を持ってこさせる。それを見てまた質問をしてほしい。全員協議会でも一緒。本会議で何時間かかってもいいじゃないか。

**清水議員** 場所の、安全性はある。県道はまあまあ広いが、片一方からの車はちょっと離合できないような狭いところもある。どのように対応するのか。

**山本町長** 教育委員会から資料を渡す。いろんな協議をしている。今みたいに一つ一つ質問していただきたい。

**清水議員** 常任委員会の活用はどうされたか。議員への説明はどうされたか。

**山本町長** 先ほどから説明しているとおりに、本会議でしっかりこういう論議をするという。今議会、初めてこういう形でしっかり皆さんの前で論議をしてやってもらう。道路関係とかそれも調べている。ご案内のとおり裁判所から443号線へ通る道路は、かなり狭い。左側は町営住宅があるが、大分空き家になっているので、道路の拡張は可能。民家があるので調整し、左岸の活性化につなげたい。当面は本町通りを通り配送する形になる。

**田端議員** 全員協議会は密室で行われているという認識をされているか。

**山本町長** そうは思っていない。密室ではない。

**田端議員** 議会は、広く町民に情報を発信しながら、どんどん傍聴にも来ていただいて、モニター制度も入れて、直に見ていただいている。我々だけで密室でやっているという認識は全くない。どんどんオープンにしている。町長もその認識を持っていただきたい。

これまで町長は町民と議会と執行

部3者のバランスだと、議会は議会として委員会活動そして全員協議会等を通じてしっかりした議論をしてくれと、そういう方針だったと思う。しかし、今回の件に関して聞いていると、議会の全員協議会とは何なのだと。何か議会に対し、信用がないと思えるような発言さえも聞こえる。議会のあるべき姿を認めて欲しい。

町政においては、行財政の監視。それと政策提言。それをやらなかったら議会というのは要らんと一緒。

**山本町長** 確かに、私は3者のバランスということで、委員会重視でやってきた。今回は時間的なこともあるが、やはり1回本会議主義できちんと論議をする形もいいんじゃないかと思った。本会議で今みたいに一つ一つ会議録に残るように質疑と答弁を繰り返してやっていく。私たちだって完璧だとは思っていない。しっかり論議をしなければいけない。全員協議会のあり方について、もう少し考えるべきじゃないか。会議録には残るが決定されない。こちらのほうも反省すべき点はあると思うが1回、この給食センター問題については、しっかりここで議論して最終的には決めるということも必要じゃないか。

## 当初予算に入れるべき

**田端議員** 御船町の場合は通年議会で毎月開催しようと思えば開催ができる。議長の招集によって開催するし、執行部の提案が議会に諮られる。しかし、御船町の将来にとって大きなこの政策が、意思決定される。今日議会がもし通れば、議会が決定したと公になっていく。

これだけの大型事業に関しては、総合計画などを基本に据えながら、年度当初の予算案の中で、出るべき。

これを審議し、意思決定をしなければならない。議会は非常に重い立場に現在ある。だから事前にこういうことで提案をしたいというのが必要だと思う。

## 建設的な意見を

**山本町長** 7案の中でどれかを選ぶか、皆さんが言われるように説明責任が足りないというのはあるかもしれないが、どこまで説明すればいいのか。納得するまで説明すればいいのか。執行部はきちんと本会議で説明している。でも、建設的な意見を言ってもらわないと時間だけ過ぎて決められない。

**田端議員** 私どもも建設的にといいものはある。それは町のためにといい。執行部に対して釘を刺すときは刺さないかん。例えば政治的意図があって反対だと言うことは、まずない。我々議会人は事前調査もやりたい。

**吉村議員** 調査権というのは事前調



保管庫にあるこの山車どうするの？

査だけではなくて、造った後でも調査できる。執行部がいろいろ検討をされ、協議会も重ねながら、提出をされている。場所は、妥当だと思っている。各議員もそういった意見があれば、今後どうしたらいいか、運搬についてはどうする、進路はどうする、給食センターはどの場所に造ると、そういったところの提案をしていくのも一つの議員の活動だと思う。先ほど言われた資料も見て、今日のうちに決をとっていただきたい。

**福永議員** 事前に、その場所すらわからなければ、それに対する調査もそれに対する反論、賛成、賛否も、とりようがない。本日の発言をもとに賛成、反対するということは、執行部の発言を今ここの判断のみでうのみにしなければいけない。

**米満学校教育課長** 資料の準備ができたので配って良いか。

**岩田議長** はい、配布して。

#### 資料が配布される

**田端議員** たばこ組合跡地で、この図面が出てきているが、この給食センターを作った場合に、周辺住民に対する影響は何ら問題はないということか。

**米満課長** 地域住民への影響は、臭

気や騒音関係に対して、実施設計等で考慮して詰めの作業に入っていきたい。

**田端議員** 一般の住宅もあるし、町営住宅もすぐ近くにある。今後は恐らく、川の向こう側は住宅地になっていくのではないかと思う。給排水、特に配水の問題など、対応はきちっとできていくのか。

**米満課長** 都市計画区域の用途地域内にある。第二種住居地域で、給食センターという建物が工場扱いされていて、基本的には建てられない建物というところになっている。

今後の手続きは、設計を行い、県の建築審査会に許可を得なければならない。地域住民の公聴会を開き、地域住民の声を反映させるとなっている。

**田端議員** 給食センターのことだが事業総額としては、大体どれくらいかかる見込みか。補助金等はあるか。

**米満課長** まだ事業費に関しては予算化していない。概算で5億5,630万円程度。児童生徒と教職員合わせまして1,400人ぐらいいるので、1,500食の食数を作る。面積が約800㎡を考えている。補助費は、全体で本体工事費に関しては、概算で5,300万円程度、それと調理設備に1,280万円程度、塵芥処理費に210万円程度、

合計6,800万円程度見ている。

**田端議員** 補助金としては15%ぐらい。一般財源から持ってくるのか起債を起すのかという方法でやっていかれるのだと思う。財政等を含めながら、しっかりと協議をしていかねばならない。特別何か予定する財源というのはあるか。

**吉本企画財政課長** 教育委員会から事業費等、また補助金等言われた。起債も約4億円かかるというところで、中期財政計画の中では計画をしている。

#### スポーツセンターでのケガの状況は

**田上議員** スポーツセンターでけががあったということだが、どういう事故か。それに対する今後の再発防止策はどうか。

**宮崎社会教育課長** 事故発生が今年4月30日、月曜日、これは振替休日で営業日。30日午前8時32分頃に事故が発生した。負傷者は、非常勤職員。左足の関節を骨折された。スポーツセンター温水プールの開館準備中に、スリラータンクというタンクが設置してあり、そこに薬品を投入する際に、バケツで持って行って上がるときに、足を踏み外され、左足首をひねり負傷した。

その後、こういう事故発生をしないように、非常勤職員、スポーツセンター職員を集め、こういう事故が今後発生しないようなお互いの取り組みとか、1人では作業は行なわないとか、2人で作業をするとか、そういう確認を行っている。

**沖議員** 御船中学校の体育館のガラスが割られたが、ガラスが割られたというのは、今度が初めてか。修理費は。

**米満課長** 私が記憶するところでは初めて。両扉と袖のガラス戸計3枚で22万円。



給食運搬車両は通れるのか!!

## 一般会計補正予算に対する討論

### 反対討論

**福永議員** 議会基本条例11条に関する事項の説明資料、これが全く議会に提出されていなかったから長い議論になった。今日の議論を経ても何

ら解決されていない部分が多々ある。事前に議会の調査権を奪った上での議決というのを許してしまえば、今後、ぎりぎりになって出せば仕方がないからと、何でも通さにかいかんとなってしまふ。自らが決めた議会

基本条例11条に違反しているということで、議決自体をやめていただきたい。もし議決が強行されるのであれば反対せざるを得ない。大変不本意だがこれに対して、議決を行使することはできない。

### 賛成討論

**田中議員** 給食センターについて6年ぐらい引き続き議論をしている。私がPTA会長をしていた当時、給食センターの設置ということで保護者を学校単位で集められた。そのときの説明は、行政、教育委員会の主

導で給食センターを造ります、だから賛成をしてくださいと、そういう動きで報告をされた。山本町長になって白紙にされ、それから6年ほど議論されての今回の提案であると思う。給食は、中学校も小学校も子どもたちに今不便さを与えている。財政問題は確かにあるが、老人ホームと

かさまざまな形で行財政改革をしながら推し進めている。私たち議会も理解すべきところは理解すべき。執行部としっかり審議のできる形でやってほしいと思う。この給食センターを進めていただきたい。この議案に対して賛成する。

## 御船町議会定例会（10月会議）議案に対する賛否

議案番号		塚本	山田	増田	福永	田上	永山	藤川	池田	田端	清水	田中	沖	佐藤	吉村	井本
議案第24号	平成24年度御船町一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	退席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	平成24年度御船町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	平成24年度御船町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	平成24年度御船町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	平成24年度御船町水道事業会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### 10月の議会の動き

- |  |                         |
|--|-------------------------|
| 5日 視察受入れ（福岡県広川町議会・熊本県氷川町議会）<br>全員協議会・上益城郡議長会 | 19日 御船地区衛生施設組合議会        |
| 9日 益城町御船町中小学校組合議会                            | 25日 総務常任委員会             |
| 11日 議会                                       | 26日 議会改革推進特別委員会・あおぞら会議  |
| 16日 視察受入れ（宮崎県臼杵郡町村議会議長会事務局）                  | 27日 市民と議員の条例づくり交流会議in九州 |
|  | 30日 議会運営委員会             |
|  | 31日 議会広報編集常任委員会研修       |



視察受入れ 福岡県広川町議会、熊本県氷川町議会  
10月5日

## 熊本バスが路線を変更

# 役場を廻るルートに

総務常任委員長 池田 浩二

10月25日に総務常任委員会を開催し、執行部より説明を受けた。

### 熊本バスが路線変更

御船営業所廃止に伴い新しい道路への路線変更を12月上旬に実施する。上り線は始発時刻を早めるので「自動車学校入口」から先は変わらない。

### 行政区の統合

進捗はよくない。なみきが丘は一つの自治区としてまとまる方向。以前いくつかの大きな区で分割の動きだったが今はない。事務方では御船校区の統合を投げかけていきたい。

国家公務員の人事評価制度導入に伴い、町も1～2年後の導入に向けて検討している。

### 企業誘致の現状は

白岩工業団地のB、C区画が空きの状態。企業が入ってこれるように準備しておく。御船町民を雇用したら町から補助金を出す。今後は国道の開通、インターチェンジの完成も近いので土地の利用を検討していく。

町内に事業を抱えているが申告がない法人がある。これに対しては事業所を調査し、申請を促したり電話帳や水道開栓等から法務局の登記簿と突合し申請を促す。



12月11日（火）の始発から熊本バスの運行ルートが変更されます。

# し尿やごみ処理場が老朽化

御船衛生施設組合議員 田上 忍

10月19日御船地区衛生施設組合議会があり管理者より以下の報告があった。

山都町を除く上益城郡内の一部事務組合には益城・嘉島、西原環境衛生組合、御船町甲佐町衛生施設組合、御船地区衛生施設組合の3組合がある。2つのゴミ処理施設と火葬場、一つのし尿処理施設がある。これらの施設については建設年度もあまり

変わらず施設の老朽化が進んでいる。いよいよ大規模な基幹整備を必要とする時期に来ている。

施設整備の効率化のためには一部事務組合の再編または統合により組織の合理化及び強化を図る必要がある。現在、検討委員会設立前の準備段階であり構成町村の担当課及び各組合事務局レベルで勉強会を始めている。

当施設の延命化対策としてし尿受入槽の防食改修工事を実施した。また九州電力の原子力発電所が停止していることから7月から9月にかけて施設の予備電源を利用し施設内の省エネに努めるとともに前年に引き続き10%の節電を実施した。節電による施設の問題はなく順調に運転をしている。



# フェイスブックを活かそう

広報編集常任委員 増田 安至

10月31日から11月1日佐賀県武雄市と有田町を視察しました。

## 市長が「はまっている」

(Facebook) の活用と効果②F&B良品の商品販売手法を勉強した。

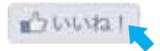
なぜ武雄市はFacebookなのか。理由は市長が「はまっている」から。

情報は「つながる」をモットーにシステムを改良し、もっと「共感」を発信したいという市長のアイデアのもと、Facebookの使い方が分からない市民に対しては民間団体が運営しているICT寺子屋を定期的に実施し、パソコンの学習を市民に行っている。その際のパソコンやipadは市が所有しているものを貸し出しているようだ。

ホームページはFacebookに完全移行し、「くらしの便利帳」や「市政情報」などは、全てFacebookページ上で見られる。データの保管だけをサーバーで運用するため、管理費用は以前の半分以下の金額になって



良いことは真似ることから始める、F&B良品



いるということだった。

## F&B良品の取り組み

特産品販売を目的にF&B良品の販売が始まった。販売当初は2品目で半年の売上げが150万円。現在は販売品目も増え1ヶ月80~90万円を売上げているようだ。販売品目の選択は職員の独断と偏見。あとは販売品目を開発する側の努力次第で、市側はFacebook上に無償でのせる

だけ。最初からその趣旨であるため「不公平だ!」との苦情はない。「市役所はあくまで町民の窓口であり、市場との媒介である」の理念のもと運営されている。

フェイスブックは、人と人とのあたらしいつながり方を提案するツールである。これまでの概念を超えたつながり方に、様々なヒントを得た。

町民へのサービス向上をどの様に提案していくか、フェイスブックを活用して進化していくことを学んだ。

## 有田焼の歴史をシリーズ化

有田町の議会広報誌は、有田焼操業400年に併せ、表紙を有田焼の歴史をシリーズ化して紹介されている。住民も意外と歴史を知らない人が多く、このシリーズは好評とのことだ。しかし、古い写真を使用する場合もあり「暗い」との意見もあるようだ。

私たちは議会広報の編集全般について質問し、役割分担や原稿作成・校正方法など幅広く研修した。特に印象に残った点は、広報委員会で申し合わせ事項が文章化されており、

①全般的・慣例申し合わせ事項、②

文・文字・数字など語句に関する申し合わせなど細かい取り決めがあっ

た事だ。是非、御船町議会でも取り入れたい。



お礼のあいさつをする田上広報編集常任委員長

## 心を込めて作った野菜



上野  
上田美代子さん

JA女性部の活動の一環としてJA御船支所の青空市場で毎朝8時から12時まで野菜を販売しています。会員28人で生産した、新鮮な野菜や花、お茶などを持ってこられます。無人販売所として始まり、今年で24年になります。新鮮野菜を求め、多くのお客様に利用いただいています。押し車や自転車で購入に來られ、買い物後はしばらくおしゃべりをして楽しいひとときを過ごして帰られます。



JA御船支所駐車場横の青空市場

に奉仕の気持ちで頑張っています。小規模ですが先輩が続いて來られた青空市場。安心安全な野菜の直売所を地域の皆様に愛されるお店にしたいと思います。

## 町内業者の活用を！



商工会館2階会議室

10月26日（金）商工会理事の皆さんとおおぞら会議を開きました。

新しくできる恐竜博物館やまちなかギャラリーの活用などについて1時間30分ほど意見交換しました。

理事の皆さんから、恐竜モニュメント作成など町内の事業所でも立派なものができる！ぜひ地元の業者を使ってほしいとの要望がありました。

また、景観条例を議会で提案してほしいとの意見もありました。

景観条例は様々な観点からの調査も必要です。御船町に合致した条例とするために、今後町民の皆さんや行政とも連携を取りながら検討していかなければならないと思います。

### 議会の予定

# 12月

- 10日 全員協議会
- 13日 議会
- 17日 議会

### 編集後記

11月は文化祭や音楽祭、スポーツ大会、地域の祭りでイベント真つ盛り。一年の中で一番、御船町が活気づいているように感じます。広報編集委員会が一番悩むのが表紙の写真です。町民の皆様の元氣や勇氣、活氣をお伝えしたい。そんな気持ちで広報委員はカメラ片手にイベントに参加です。今号の表紙はいかがでしょう。か。毎回同じような表紙にならないことを心がけ編集委員会が行われています。今号はフルカラー印刷です。中途半端に掲載しては伝わらないものがあります。ちゃんと伝えるためにどうしたらいいのかを考え、これからも臨機応変に対応し議会活動を皆様にお伝えしていきます。

### 議会広報編集常任委員会

- 発行責任者 岩田 重成  
委員長 田上 忍  
副委員長 山田 五郎  
委員 佐藤 俊明  
委員 田中 隆敏  
委員 永山 和人  
委員 増田 安人